

第1号議案 令和6年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について

令和6年度 事業報告書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

I 会員数

区 分		正 会 員	準 会 員	計
期首 (06. 4. 1)		2 3	8	3 1
期 中 異 動	増	0	0	0
	減	0	0	0
期末 (07. 3. 31)		2 3	8	3 1

**II 会 議
理事会**

第1回 令和6年6月11日

付 議 事 項

第1号議案 第74回定時総会に付議する事項

- (1) 令和5年度事業報告書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認について
- (2) 令和6年度事業計画及び収支予算の補正について
- (3) 令和6年度経費賦課及び徴収方法の決定について
- (4) 令和6年度借入金最高限度額の決定について
- (5) 付帯決議について

第2号議案 付帯決議について

第2回 令和7年3月19日

付 議 事 項

第1号議案 令和6年度補正予算（案）の承認について

第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算（案）の承認について

第3号議案 役員選考委員会の設置について

第4号議案 肉用牛経営安定交付金制度業務に係る事務委託先及び登録手数料単価の承認について

第5号議案 肉用子牛補給金制度に係る生産者積立金単価及び登録手数料単価の承認について

第6号議案 付帯決議について

監事会

第1回 令和6年6月3日

監 査 事 項 令和5年度事業及び会計帳簿に基づく検査
(正味財産増減計画書、貸借対照表)

総 会 (第74回定時総会)

令和6年6月25日

付 議 事 項

- 第1号議案 令和5年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認について
- 第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算(変更)の決定について
- 第3号議案 令和6年度経費賦課及び徴収方法の決定について
- 第4号議案 令和6年度借入金最高限度額の決定について
- 第5号議案 付帯決議について

検 査 関 係

大阪府動物愛護畜産課事業検査	令和6年	4月17日
農畜産業振興機構	令和6年	6月26日
地方競馬全国協会	令和6年	7月31日

Ⅲ 事 業 概 要

(継続1) 経営安定対策事業

1. 肉用牛肥育経営安定交付金制度(農畜産業振興機構委託事業)

もと牛の導入から出荷まで長期を要する肉用牛経営は、もと牛や枝肉価格の変動によって経営収支の悪化を招くリスクを抱えている。本制度は生産者の負担金により地域基金を造成、肥育経営収支の悪化時に地域基金を取り崩し、国(農畜産業振興機構)の補助を受けて、補填金交付を行い本府肥育牛経営の安定を目的としている。

法制化の下で開始された肉用牛肥育経営安定交付金制度で、本年度は第2業務対象年間の最終年度となる。年度前半は枝肉価格の低迷や算定対象となるもと牛のコスト高を背景に補填金の発動が続いたが、年後半に向けて枝肉市場価格の上昇ともと牛コストの低下から肉専用種、交雑種の補填金交付はなかった。新たに始まる業務対象年間に向けて業務方法書の改定や契約更改などを行い円滑な業務推進を図った。また、事務委託先の協力を得ながら個体登録や販売報告、生産者積立金の徴収、基金管理など補填金交付ルーチン作業の円滑な実施を遅滞なく行った。

① 補てん金交付契約者

区 分	個人	法人	計
契約締結者数	5	4	9

② 事務委託先

4団体	大阪畜産農協、大阪府配合飼料価格安定基金協会 JA 大阪泉州、JA 大阪北部
-----	---

③ 個体登録頭数(月齢:肉専 25 月齢、交雑 22 月齢、乳用 18 月齢、その他肉専 20 月齢)

区 分	R06 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R07 1 月	2 月	3 月
肉専種	29	21	27	26	23	26	17	29	17	19	31	22
	287 頭 (前年 264 頭)											
交雑種	4	12	2	2	2	1	2	1	2	10	6	8
	52 頭 (前年 31 頭)											
乳用種	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	2 頭 (前年 2 頭)											
合 計	33	33	29	28	25	27	21	30	19	29	37	30
	341 頭 (前年 297 頭)											

④ 生産者負担金

単位:円/頭

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種
生産者負担金	17, 000	13, 000	10, 000
登録手数料	700		

⑤ 交付金関係

1) 交付金単価(出荷月)

単位:円/頭

区 分	対 象 品 種		
	肉専種	交雑種	乳用種
R06 . 2 月	63,045.9	—	15,795.79
3 月	87,559.2	—	35,480.7
4 月	32,333.4	—	19,021.5
5 月	76,692.6	—	34,847.1
6 月	79,955.1	23,265.9	41,036.4
7 月	51,114.6	38,994.3	49,389.3
8 月	66,158.1	3,827.7	53,992.6
9 月	50,098.5	5,550.3	52,113.6
10 月	48,208.5	3,477.6	42,574.6
11 月	4,502.7	—	39,900.6
12 月	—	—	40,308.93
R07 . 1 月(概算)	—	—	46,238.6

2) 補てん金対象頭数及び補填金交付額

単位:頭、円

交付実績	肉専用種		交 雑 種		乳 用 種		合 計	
	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額
R6.4- R7.3 月	228	11,874,001	11	48,966	1	39,900	240	11,962,867

*年度内実交付額 (R6.2月—R7.1月出荷分に対応)

⑥推進会議の開催

開催時期	開催場所	内 容
R6.9.10	大手前建設会館（大阪市）	○最近の肉用牛の情勢 ○個体登録進捗状況及び補填金交付状況 ○事業の推進について
R7.2.21	大手前建設会館（大阪市）	○補填金交付状況及び業務の推進について ○次期業務対象年間への移行について ○事業の推進について

2. 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（農畜産業振興機構補助事業）

農畜産業振興機構の助成を受け、肉用子牛生産者補給金制度の適正かつ円滑な実施体制の確保を図るとともに、肉用子牛生産者補給金の交付事務処理における適切な処理を行う事業である。

本年度は第7業務対象年間（令和2～6年度）の最終年度に当たり、大阪府並びに関係団体の協力を得て、補給金制度に係る個体登録、保留報告等業務並びに生産者における契約の切り替え手続きを行い、子牛補給金制度業務の推進を図った。

子牛価格の動向については、割高な牛肉に消費者の手が伸びず、外食も牛肉離れが進んでおり、肥育経営による子牛の買い控えが影響してか、第2四半期から第4四半期まで黒毛和種における肉用子牛の平均売買価格は補償基準価格を下回り、3期続けて補てん金が発動された。本府における補てん金の対象となった肉用子牛は第2四半期が7頭、第3四半期が7頭、第4四半期が8頭となっている。しかし乳用種や交雑種においては平均販売価格が基準価格を下回ることはなかったため、補てん金の発動はなかった。

(1) 生産者補給金交付契約者数

(単位:戸)

	個人	法人	合計
令和6年度	3	3	6

(2) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分 品種	令和6年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	令和6年 1～12月 合計
黒毛和種	7	8	10	9	34
褐毛和種	0	0	0	1	1
乳用種	0	0	0	0	0
交雑種	0	0	2	0	2
計	7	8	12	10	37

(3) 保証基準価格及び合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	令和5年度		令和6年度	
	保証基準価格	合理化目標価格	保証基準価格	合理化目標価格
黒毛和種	541,000	429,000	564,000	439,000
褐毛和種	507,000	400,000	514,000	404,000
乳用種	164,000	110,000	164,000	110,000
交雑種	274,000	216,000	274,000	216,000

(4) 平均売買価格

(単位：円)

品種区分 区分	黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種
令和6年1～3月	562,200	585,300	173,600	347,700
4～6月	541,400	606,100	177,500	318,500
7～9月	498,900	649,800	201,700	299,500
10～12月	521,900	677,100	201,300	329,400

(5) 生産者積立金造成内訳

(単位：円)

品 種	個体登録 頭数	積立金 単価	積立所要額	負担区分		
				農畜産業 振興機構	大阪府	生産者
黒毛和種	34	1,600	54,400	27,200	13,600	13,600
褐毛和種	1	6,000	6,000	3,000	1,500	1,500
乳用種	0	6,800	0	0	0	0
交雑種	2	3,200	6,400	3,200	1,600	1,600
合 計	37	—	66,800	33,400	16,700	16,700

※負担区分：助成金（農畜産業振興機構 1/2、大阪府 1/4）、生産者 1/4

(6) 1頭当りの生産者負担金額 (令和6年度) (単位:円)

区 分	黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種
令和6年4月～ 令和7年3月	400	1,500	1,700	800
登録手数料/頭	700			

(7) 補填金交付額 (単位:円(戸))

区 分	黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種
令和6年 4～6月	158,200(2)	—	—	—
7～9月	455,700(2)	—	—	—
10～12月	336,800(2)	—	—	—

3. 優良和子牛生産推進緊急支援事業 (農畜産業振興機構補助事業)

肉用子牛の大幅な下落により、肉用子牛生産者の経営環境が悪化しており、生産意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念される状況が継続している中で、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者を緊急に支援する等事業を実施することにより、肉用子牛の生産基盤の強化を図る事業。肉用子牛に登録しており、尚且つ対象期間中に販売した子牛が対象となる。

(1) 交付対象生産者 (単位:戸)

区 分	個人	法人	計
対象生産者数	1	0	1

(2) 補てん金交付額 (単位:円(頭数))

区 分	黒毛和種	褐毛和種
令和6年4月～ 令和7年3月	—	—

(継続2) 安心・安全な畜産物の生産支援事業

1. 食の安全・消費者の信頼確保対策事業 (農林水産省補助事業)

(1) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

牛海面状脳症(BSE)の浸潤状況を把握するためBSE特有の症状を有する死亡牛のBSE検査を行う事業である。本年度においては円滑な事業の推進を目的に協議会を開催し推進を図ったものの、補助対象とする死亡牛処理整理表の提出は無かった。

○協議会の開催

開催時期	開催場所	内 容
R6.5.24	大手前建設会館(大阪市)	・家畜衛生をめぐる情勢 ・事業の推進について

○助成金の交付対象

区 分	頭数 (頭)	備 考
検査促進費 (情報提供費)	0	定額 6,000 円/頭
検体提供費 (検体提供費)	0	定額 6,000 円/頭
BSE 検査料	0	定額 4,500 円/頭

(2) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

本府で感染拡大が懸念される EBL (牛伝染性リパ腫) の蔓延防止を目的に関係者を招集して防疫推進会議を開催し府下での衛生意識の向上等及び清浄化対策について検討した。EBL については有効なワクチンや治療法がなく、完治が難しい牛感染症であることから積極的に蔓延防止に取り組む生産者に対して吸血昆虫等の忌避剤購入費に対する助成を行い、感染防止を支援した。また、流行が懸念されるアカバネ病についての感染リスク軽減のためにワクチン接種を実施した生産者に対して一部助成を行った。

●防疫推進会議の開催 1 回

(令和 6 年 5 月 24 日：大手前建設会館会議室 参加者 12 名)

- 1) 最近の家畜衛生をめぐる情勢
- 2) 家畜生産農場清浄化支援対策事業の概要
- 3) 事業推進について

●EBL 対策 吸血昆虫忌避経費助成

対象： 12 農家 事業費 349.9 千円 (助成金 154.9 千円)

●アカバネワクチン接種費助成 433 頭：事業費 606.2 千円 (助成金 122.9 千円)

2. 家畜防疫互助基金支援事業 (中央畜産会委託事業)

口蹄疫、CSF 等の悪性伝染病が発生した場合に、生産者等が経営再開に向けた取組を互助支援するための事業である。本年度においては、新たな事業対象年間に入り、契約締結の業務を行い、生産者積立金の徴収と共に旧事業年間における残額の無事戻しを円滑に実施した。また、韓国で発生した口蹄疫やアフリカ豚熱を踏まえて飼養衛生管理の徹底など啓発を行った。

●推進会議開催 1 回

(令和 6 年 5 月 24 日：大手前建設会館会議室 参加者 12 名)

- 1) 最近の家畜衛生をめぐる情勢
- 2) 家畜防疫互助事業の概要
- 3) 事業推進について

●契約戸数：乳用牛・肉用牛 26 戸 (1,727 頭)、養豚 4 戸 (3,079 頭)

3. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 (中央畜産会助成事業)

地域における飼養馬の自主防疫活動の強化を推進するため地域推進対策検討会を開催するとともに、全国的に発生リスクのある馬インフルエンザの発生予防を目的に馬飼養者が実施するワクチン接種に対して助成を行った。

●馬防疫強化地域推進会議開催 1回

(令和6年10月25日：大手前建設会館会議室 参加者9名)

1) 馬ワクチン接種等地域推進対策事業について

●馬インフルエンザワクチン接種推進 239頭 13乗馬施設：助成額 941,660円

4. 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会助成事業）

馬の飼養衛生管理、馬感染症等疾病に関する技術向上を目的とした事業。馬飼養者及び関係獣医師の飼養衛生管理に関する知識の普及・啓発を図った。

●地域馬飼養衛生管理体制整備委員会開催 1回

(令和6年10月25日：大手前建設会館会議室 参加者9名)

1) 地域馬飼養衛生管理特別対策事業について

2) 馬獣医療実態調査【R5年度報告書】

●馬飼養衛生管理技術地方講習会 1回

(令和6年11月3日：大阪公立大学：参加者42名)

「馬の眼科疾患とそれを予防するための管理について」

動物眼科専門クリニック 辻田 祐規 氏

「Equine Current Therapy ～最新の診断・治療・疾病予防～」

社台ホースクリニック 鈴木 吏 氏

●地域馬獣医療実態調査の実施

(令和6年11月 府下全域 配布25件：回収15件)

5. 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成事業）

特定疾病発生時における畜産農家での初動防疫活動、地域特定疾病対策等の検討等を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施を行い、生産現場における家畜防疫体制の強化を図った。また、輸入馬における馬伝染性貧血自衛検査について、検査料の助成を行った。

●推進会議開催 2回

1回目：(令和6年7月25日：大手前建設会館会議室 参加者12名)

1) 事業の概要

2) 防疫演習・農場 HACCP 講習会について

3) 馬伝染性貧血検査助成金交付

2回目：(令和7年2月13日：大手前建設会館会議室 参加者11名)

1) 最近の豚熱・鳥インフルエンザの状況

2) 事業の進捗状況について

3) 次年度計画について

●地域自衛防疫活動推進対策 2回

地域防衛体制の整備・定着を目的に家畜保健衛生所等の協力を得て防疫演習を開催した。

1回目：(令和6年9月12日：浪切ホール 参加者131名、

「家畜伝染病対策について」

大阪府家畜保健衛生所

「家畜伝染病防疫演習」

大阪府動物愛護畜産課・大阪府家畜保健衛生所

2回目：（令和6年11月1日：すばるホール会議室 参加者19名）

「鳥インフルエンザの現状と対策」

資料配布のみ

「養鶏場の衛生管理について」

大阪府家畜保健衛生所

●馬伝染性貧血自衛検査補助（1件、1頭分：助成金1,700円）

6. 自衛防疫推進事業（自主事業）

事業受託して実施する家畜衛生事業の補完とともに家畜防疫情報の収集及び情報提供を行った。

（継続3） 経営技術向上事業

1. 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会補助事業）

畜産の担い手育成、確保、増強に向けた体制強化をはじめ、地域畜産の活性化、馬事・畜産普及啓発の体制強化等を通じて府内畜産振興に努めた。

2. 畜産環境保全推進事業（大阪府委託事業）

家畜堆肥の利用促進を図るため堆肥マニュアルを作成・配布をするとともに、耕種農家へ向けた普及推進を行った。

●企画検討会 2回

第1回検討会（令和6年9月11日：大手前建設会館会議室 参加者11名）

- 1) 畜産環境をめぐる情勢について
- 2) 事業概要及び今年度の実施計画について
- 3) 府内畜産農家における販売状況及び耕種農家への堆肥普及推進活動について
- 4) 堆肥マニュアルについて

第2回検討会（令和7年3月3日：大手前建設会館会議室 参加者10名）

- 1) 畜産環境問題に関する情勢等について
- 2) 耕種農家への堆肥普及推進活動報告
- 3) 令和7年度堆肥利用マニュアルについての検討

●堆肥マニュアル1,600部

●堆肥普及推進活動

- 1) 令和6年10月10日：環境農林水産総合研究所会議室 参加者約20名
- 2) 令和6年12月5日：和泉市役所会議室 参加者約20名
- 3) 令和6年12月19日：岸和田市営農センター会議室 参加者約20名

3. 畜産特別資金借受者等指導事業（中央畜産会補助事業）

畜産特別資金借受者の経営改善を円滑に進めるため金融、指導団体による経営改善推

進協議会を組織し、効果的な指導・支援について検討を行った。

- 西日本ブロック会議（令和6年10月1～2日 開催地 大阪府）

- 経営改善推進協議会を開催し、現下の畜産情勢の共有と畜特資金の活用や支援内容の方策等について協議を行った。

（令和6年10月22日：大手前建設会館会議室 参加者6名）

- 融資機関による借入者指導チェックリストについて

令和6年度から本資金融資残高のある対象金融機関は、指導チェックリストの提出が必要となり融資機関へ様式や記入方法等についての説明を行った。

4. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（中央畜産会委託事業）

畜産農家を核に地域の収益性向上に取り組む協議会が、知事の認定を受けた畜産クラスター計画に基づき、導入機材費5割の補助付きリースが活用できる事業。大阪府の協力を得て周知を図るとともに事業参加要望書の取り纏め業務等適正な事業の推進を行った。

- 事業説明会 1回

畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業の参加申請・要望申請について

1回目（令和7年3月12日：堺市畜産農協会議室）

- クラスター計画に基づいた機械リース事業への要望申請実績なし

- クラスター計画に基づいた機械リース事業への参加申請実績なし

- 導入した機械の実績報告実績なし

- 都道府県内における事業の執行に係る調査業務

1 協議会：調査件数 1件

5. 酪農労働力省力化推進施設等緊急整備対策事業及び畜産経営体生産性向上対策事業

（中央畜産会委託事業）

酪農における労働負担軽減事業を目的とした協議会が作成した楽酪計画に基づき、導入機材費5割の補助付きリースが活用できる事業。大阪府の協力を得て周知を図るとともに事業参加要望書の取り纏め業務等適正な事業の推進を行った。

- 関係団体に向けた説明会の開催 2回

1回目（令和6年4月24日：堺市畜産農協会議室）

2回目（令和6年6月26日：堺市畜産農協会議室）

- 楽酪計画に基づき機械リースの要望申請した内容
なし

- 機材導入に係る成果報告書
なし

6. 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託事業）

産直の推進や消費者との交流等を目的に若手後継者を中心として畜種横断的に結成された生産者組織において、府内産畜産物の認知度の向上や販売チャンネルの拡大並びに6次産業化の仲間づくりに関する推進会議を開催した。また、畜産物消費者モニターへのアンケート調査を実施し、集計後とりまとめを行った。

- 推進会議：2回

第1回推進会議（令和6年5月27日：大手前建設会館会議室 参加者7名）

- 1）昨年度の活動報告
- 2）フードスタイル関西2024の説明
- 3）大阪府立農芸高校との交流案件について
- 4）消費者との料理教室について

第2回推進会議（令和6年11月8日：大手前建設会館会議室 参加者7名）

- 1）大阪府農芸高校打合せ内容報告
- 2）2024 フードスタイル関西について
- 3）消費者との料理教室について

●料理教室の開催：1回

令和6年8月20日（大阪ガスクッキングスクール 参加者24名）

●商談会への参加：1回

令和7年1月22日～23日（フードスタイル関西2025 インテックス大阪）

●アンケート調査：1回

送付数：152件、回答数：72件

7. 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託事業）

畜産近代化リース協会が畜産経営者に貸付中の施設・機械等の確認・管理状況の調査、適正利用のための技術指導を実施するとともに、本リース事業の普及啓発を行った。

8. 機構のリース事業に係る都道府県委託事業（畜産環境整備機構委託事業）

畜産環境整備機構からの貸付施設・機械の保守管理状況の確認とともに、本リース事業の普及啓発を行った。

9. 畜産物輸出対応生産円滑化事業（日本畜産物輸出促進協会受託事業）

畜産物を積極的に輸出しようとする生産者に対し、情報提供並びに日本畜産物輸出促進協会への照会等を行う事業。関係資料の送付による周知及び普及促進を行った。

●事業説明会 1回

（令和6年6月25日：大手前建設会館 参加者18名）

令和5年度の事業実績・令和6年度事業計画の説明及び意見交換会

●セミナー開催 1回

（令和6年9月6日：大手前建設会館 参加者13名）

「日本の畜産物輸出の現状について」

日本畜産物輸出促進協会 高橋 幹 氏

「今後の和牛の展望 -脂肪含量から脂肪の質へ、和牛改良のこれから-」

（独）家畜改良センター改良技術課 松本 和典 氏

●輸出相談について 1戸

（（株）Silver Back 代表取締役 多田ゆき 兎肉生産者 岬町多奈川）

日本畜産物輸出促進協会 高橋氏と訪問。輸出に至る手順について説明。

その他一般事業

1. 畜産副産物適正処分等推進事業（日本畜産副産物協会委託事業）

牛せき柱がBSE特定危険部位に指定されたことに伴い、牛せき柱の適正管理を推進するため、と畜された牛枝肉に対して確認票を発行するとともに、30カ月齢以上の枝肉を対象に化製業者等と分別供給契約を締結した食肉事業者からの促進費交付申請書類の受付及びチェック業務を行った。

牛枝肉確認票発行枚数：4,014枚

促進費交付業務：上期13件、下期13件 促進費交付額：3,844,475円

2. その他収益事業

関連事業の受託や業務代行及び畜産物販売の仲介業務の実施。